

第2回一括研修会の様子

今年度、各学校・区の学校運営協議会の新規委員となった方々を対象とした、「第2回一括研修会」を、6月25日（水）に開催しました。取手市福祉会館の講座室を会場として、午前10時から約2時間、講師はおなじみの文部科学省総合教育政策局CSマイスターの安齋宏之（あんざい ひろゆき）先生です。

第2回目の研修会のテーマは、「デザインしてみよう、地域と学校がともに築く未来 ～模擬熟議～」でした。以下、研修項目とその主な内容を示します。

- 1 学校運営協議会の進め方
- 2 熟議とは
- 3 演習「模擬熟議」に挑戦してみよう
- 4 おわりに



講師の安齋宏之先生

1 学校運営協議会の進め方

○学校運営協議会の年間スケジュールの例、開催の仕方などを教えていただきました。

2 熟議とは

○「多くの当事者による『熟慮』と『議論』を重ねながら課題解決を目指す対話」のことを、「熟議」と位置付けます。この「熟議」という言葉、最近テレビでも時々聞くことがありますね。学校運営協議会におけるこの熟議を通して、学校と委員の間に「合意形成」「納得解」を得ることができれば、具体的な取組、つまり「地域学校協働活動」に展開していくことができるのです。

○この熟議のスタイルとして、委員だけでなく、そこに学校教員や保護者、委員以外の地域住民などが加わって実施する形もあるそうです。また、テーマを複数用意して行う場合や、一つのテーマにしぼって解決策まで熟議する場合もあるとのことでした。



<熟議>の具体的な方法

- 熟議グループの人数…6名前後
- 意見の出し方…付箋紙に自分の考えを書き、模造紙等に貼る
- 役割
ファシリテーター（進行役）
タイムキーパー（計時）
- 発言は1回1分以内が原則
- 出された意見をグループ分けし見出しを付けたりすると分かりやすい
- 各話し合いグループ間で模造紙を見せ合い、共有する

3 演習「模擬熟議」に挑戦してみよう

○模擬熟議のテーマ

「子どもの命を守るために何ができるか考えよう」

◆熟議Ⅰ「子どもの周りにおける安全上の課題は？」

◆熟議Ⅱ「子どもの命を守るためにはどんな取組が必要か？」



テーマについて各自の考えを付箋紙に書き、模造紙に貼っていきます



二つの熟議の結果を、二つのグループが代表して発表しました



↑ 交通事故の予防について



↑ 異常気象から自分の身を守るために

七つのグループどれもが、しっかりと「熟議」に取り組みました。参加された委員の方々の意識の高さを感じました。